

平成15年度事務事業評価表

担当	都市開発部	区画整理課	内線等	2315
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	蒲郡蒲南土地区画整理事業				
根拠法令等	土地区画整理法・都市計画法	A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	市街地整備

②事務事業の内容

対象（受益者）	地区面積52.20haの土地権利者及び住民に対して
手 段	道路、公園等の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図り
想定する成果	健全な市街地を形成する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
事業内容	工事費 2,661,750円	工事費 24,061,800円	工事費 44,400,000円
	補償費 26,076,190円	補償費 166,547,866円	補償費 128,980,000円
	事業費 114,594,525円	事業費 228,245,126円	事業費 204,574,000円

④成果指標

成果指標名	① 事業進捗率	② 建物移転率
成果指標の説明	事業費累計/総事業費×100	移転累計/総建物移転数×100

⑤事業の進捗状況（土地区画整理事業特別会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	95.1%
	実績	92.4%	93.8%	—
成果指標 ②	計画	—	—	98.8%
	実績	97.6%	98.7%	—
事業費	事業費	105,505	218,505	194,551
	人件費	9,089	9,740	10,023
	(人数)	1.1	1.2	1.2
	合計	114,594	228,245	204,574
財源内訳	国	18,000	58,000	45,000
	県			
	市債	36,000	87,000	67,500
	その他			
	一般財源	60,594	83,245	92,074

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	1	1	本地区は家屋密集地域の為、家屋移転が進まずH15末で35ヵ年になりますが、補助金導入で事業費93.8%、建物移転率98.7%になります。
経済効率性	2	2	家屋移転の方法が移転費用の低減を図る曳家を基本としている。
事務効率性	1	1	本地区は組織的反对者が居ったのと家屋密集地域の為、H15末で35ヵ年になりますが、道路整備率96.3%になります。
必 要 性	2	3	本地区は、既成市街地で交通量の激増している現状と密集地帯での火災や浸水に対する防災、生活基盤施設の不足状況等から公共施設の整備を急務とする。
小 計	6 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	1	1	審議会、権利者説明会（長期に渡る組織的反对者との話し合い等）を実施した。
合 計	7 /15 満点中	8 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	B	本地区は家屋密集地域、組織的な反对者、H8に国庫補助金の打ち切りに伴う財政難等が原因で、かなり遅れているが、まちづくり総合支援事業（国庫補助）の導入で少しは進みましたが、まだまだ多くの事業が残っています。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

国庫補助金の新しいメニューの追加に伴う事業期間の短縮を図った。

⑧今後改善すべき点

新しい国庫補助金（まちづくり総合支援事業）の事業期間がH14～H17ですが、まだ残事業がありますので、まちづくり交付金の導入が必要。

⑨平成17年度予算に反映する項目

新しい国庫補助金（まちづくり交付金）の採択。

⑩組織、人員に関する提言

現在、技術職が少なく多くの公共施設を整備して行くには支障が出ている。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	都市開発部	区画整理課	内線等	2315
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	蒲郡中部土地区画整理事業				
根拠法令等	土地区画整理法・都市計画法	<u>A</u> 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	市街地整備

②事務事業の内容

対象（受益者）	地区面積53.31haの土地権利者及び住民に対して
手 段	道路、公園等の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図り
想定する成果	健全な市街地を形成する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
事業内容	工事費 46,941,300円	工事費 100,098,600円	工事費 49,000,000円
	補償費 433,289,529円	補償費 562,533,475円	補償費 518,823,000円
	事業費 622,007,128円	事業費 795,099,070円	事業費 712,023,000円

④成果指標

成果指標名	① 事業進捗率	② 建物移転率
	事業費累計/総事業費×100	移転累計/総建物移転数×100

⑤事業の進捗状況（土地区画整理事業特別会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	59.4%
	実績	51.8%	55.8%	—
成果指標 ②	計画	—	—	54.3%
	実績	45.5%	50.1%	—
事業費	事業費	557,556	731,787	646,870
	人件費	64,451	63,312	65,153
	(人数)	7.8	7.8	7.8
	合計	622,007	795,099	712,023
財源内訳	国	127,285	165,950	142,300
	県			
	市債	182,500	320,200	279,800
	その他		5,400	
	一般財源	312,222	303,549	289,923

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	1	1	当初S62～H8の計画が、2回変更して～H19になり、H15末の事業進捗率が55.8%（移転率50.1%）でかなり遅れている。
経済効率性	2	2	370百万円/haで、費用対効果(B/C)は1.16（市内における自動車交通量の増加に対応した、幹線道路の整備）で再評価の基準値1.00以上をクリアしている。
事務効率性	1	1	職員が執行した事務事業量に見合った成果があげていない（公共施設整備率が悪い）。
必 要 性	3	3	道路公園等公共施設が貧弱で防災上の観点からも問題があり、都市計画道路をはじめとする公共施設の整備を行い健全な市街地を形成する。
小 計	7 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	1	1	権利者説明会、審議会、まちづくりニュースの配布を実施した。
合 計	8 /15 満点中	8 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	区画整理地内の建物移転が計画性がなく、公共施設（都市計画道路及び公園）の整備が遅れているが、本宿線67.8%、名豊線が72.7%の整備率になりました。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

国庫補助金等の新しいメニューの追加に伴う事業期間の短縮を図った。

⑧今後改善すべき点

まちづくり総合支援事業の事業期間がH17で終わりますが、まだ多くの事業が残っていますので、まちづくり交付金の導入が必要です。
--

⑨平成17年度予算に反映する項目

新しい国庫補助金（まちづくり交付金）の採択。

⑩組織、人員に関する提言

現在、技術職が少なく多くの公共施設を整備して行くには支障が出ている。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	都市開発部	区画整理課	内線等	2315
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	蒲郡駅南土地地区画整理事業				
根拠法令等	土地地区画整理法・都市計画法	A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	市街地整備

②事務事業の内容

対象（受益者）	地区面積19.59haの土地権利者及び住民に対して
手 段	道路、公園等の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図るのとふるさとの顔づくりによって
想定する成果	健全な市街地の形成と蒲郡市の顔にふさわしい質の高いまちづくりを図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
事業内容	工事費 100,585,800円	工事費 115,375,050円	工事費 264,300,000円
	補償費 490,632,256円	補償費 790,696,062円	補償費 408,168,000円
	事業費 789,868,899円	事業費 1,076,240,649円	事業費 843,756,000円

④成果指標

①		②	
成果指標名	事業進捗率	建物移転率	
成果指標の説明	事業費累計/総事業費×100	移転累計/総建物移転数×100	

⑤事業の進捗状況（土地地区画整理事業特別会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	75.0%
	実績	63.7%	70.0%	—
成果指標 ②	計画	—	—	69.6%
	実績	55.9%	63.6%	—
事業費	事業費	717,154	1,012,928	778,603
	人件費	72,714	63,312	65,153
	(人数)	8.8	7.8	7.8
	合計	789,868	1,076,240	843,756
財源内訳	国	190,000	408,350	277,333
	県	4,189	0	5,500
	市債	227,800	445,700	330,400
	その他	3,080	2,203	1,452
	一般財源	314,799	219,987	229,071

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	当初S63～H7の計画が、3回変更して～H17になります。50m道路・電線地中化工事も進み、H15末の事業進捗率が70%（移転率63.6%）になります。
経済効率性	1	1	872百万円/haと費用が高い、又市街地を区画整理する為、費用対効果(B/C)は1.01で再評価の基準値1.00以上を辛うじてクリアしている。
事務効率性	1	1	職員が執行した事務事業量に見合った成果があげていない（公共施設整備率が悪い）。
必 要 性	3	3	蒲郡市の玄関口及び交流拠点にふさわしい個性的で魅力あるまちづくり。
小 計	7 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	2	2	権利者説明会、ふるさとの顔づくり策定委員会、審議会、まちづくりニュースの配布を実施した。
合 計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	国庫補助金など外部財源に頼って、一般財源が少ない為、補償物件に計画性がなく、公共整備が遅れている。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

国庫補助金等の新しいメニューの追加に伴う事業期間の短縮を図った。

⑧今後改善すべき点

駅周辺を中心とした商業地及びその周辺市街地の活性化に重点をおき、50m道路、駅前広場等の公共整備（蒲郡市の玄関口及び交流拠点にふさわしいまちづくり）を計画して行くのと、まちづくり交付金の導入が必要です。

⑨平成17年度予算に反映する項目

公共施設の整備が遅れている為、50m道路（せせらぎを含む、）、駅前広場とその周辺の整備をして行く。

⑩組織、人員に関する提言

現在 技術職が少なく多くの公共施設を整備して行くには支障が出ている。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	都市開発部	区画整理課	内線等	2315
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	蒲郡駅南西地区まちなみ形成推進事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則 D その他 <u>E なし</u>

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	市街地整備

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡駅南西地区1.5ha（A～F街区）を
手 段	C街区に市有地集約、E、F街区に地権者によるまちづくりで
想定する成果	駅前にふさわしい個性あるまちづくりの推進を図り、地権者や事業者の民間活力を支援し、環境に配慮したまちなみ形成を推進する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
事業計画作成	事業計画（案）の見直し 事業再評価「中止」	（C街区）市有地集約 2,060㎡のうち1,360㎡(66%)集約 （E、F街区）意見調整中	（C街区）市有地集約 2,060㎡のうち700㎡集約 （E、F街区）地権者によるまちづくり

④成果指標

成果指標名	① 事業進捗率	②
成果指標の説明	年度市有地集約数/全体市有地集約数×100	

⑤事業の進捗状況（土地区画整理事業特別会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	100%
	実績	%	66.0%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	878	740	866
	人件費	27,267	17,857	18,376
	(人数)	3.3	2.2	2.2
	合計	28,145	18,597	19,242
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	28,145	18,597	19,242

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	市有地集約面積2,060㎡（C街区）に対し、1,360㎡(66%)市有地を集約した。それ以外のE.F街区は意見調整中です。
経済効率性	2	2	市有地集約箇所（C街区）とE.F街区で、駅前にふさわしい個性あるまちづくりを図る。
事務効率性	2	2	市有地集約箇所（C街区）とE.F街区で、駅前にふさわしい個性あるまちづくりを図る為、まちなみ形成推進委員会を設置した。
必 要 性	3	3	市有地集約箇所（C街区）とE.F街区で駅前にふさわしい個性あるまちづくりを図る。
小 計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	3	2	まちなみ形成推進委員会等により、意見集約をしている。
合 計	12 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	現在の事業の進め方で十分効果があがる。
------	---	---	---------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

蒲郡駅西地区第一種市街地再開発事業を中止し、それにかわるまちづくりで事業リスクの軽減と地権者の不安を解決するために施設計画や資金計画の再検討を行った。

⑧今後改善すべき点

本事業は、区画整理事業と同時施行であった。そのため責任の所在が曖昧な部分もあった。今後は官民の役割分担を明確にし、積極的な民間活力の導入を図る必要がある。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載